



安全で安心
できる社会を
131

くらしの情報

平成17年(2005年)7月25日
編集・発行 西宮市消費生活センター
〒663 8035 西宮市北口町1番1号
電話 0798 69 3159
FAX 0798 69 3162
ホームページhttp://www.nishi.or.jp/~syouhi/

「不当・架空請求はがき」の相談

携帯電話とネット関連が倍増

平成16年度に西宮市消費生活センターに寄せられた消費生活相談の概要がまとまりました。相談の総件数は7821件で、昨年度より約2000件増加し「グラフ参照」4年前に比較すると3.5倍増で過去最高になりました。主な理由は、携帯電話やインターネット利用料の不当・架空請求はがきに関する相談が急増したためです。また、多かつた相談件数順は、相談別の品目・件数↓下表のとおりです。

平成16年度 消費生活相談のまとめ

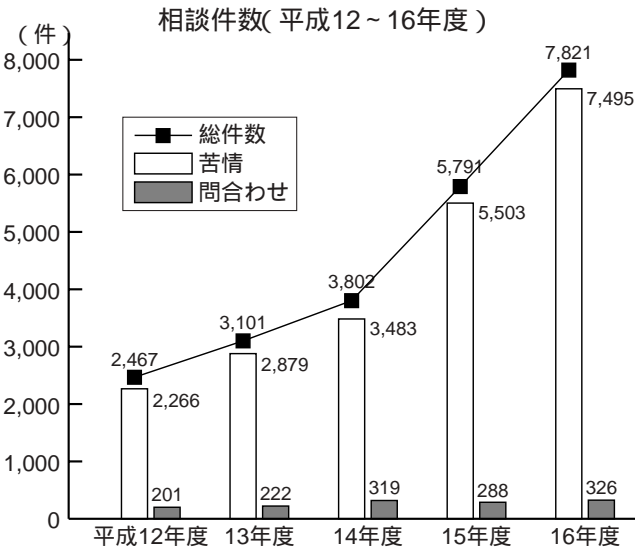
相談の内容

携帯電話・インターネットの有料サイト料金にかかる「オンライン情報関連」が相談全体の半分を超える4424件でした。携帯電話やネットの利用者、年齢層に関係なく、無差別に不当・架空請求のはがきが大量に送り付けられ、相談件数が昨年の2.2倍に倍増

相談の方法は、電話が6256人、来所者は1565人で昨年の2倍でした。相談全体の41%は20、40歳代で、男女では、女性が約400人上回りました。内容別にみると、契約・解約に関する相談が6590件、次いで販売の相談が5962件で、相談全体の86.4%になります。購入形態別の相談では、通信販売に関する相談が全体の64%、店頭販売が15%、訪問販売が10%、その他11%でした。

相談の受付状況

受付件数は、平成15年度を2030件増加し、昨年を大幅に更新しました。その内訳は、苦情が7495件、問合わせ・要望が326件でした。



気をつけて! 悪質リフォーム お年寄り狙いの詐欺

最近、悪質な住宅リフォーム業者により、高齢者が多額の工事代金をだまし取られるという被害が全国で多発しています。

内容は、世帯主が高齢者の家、古い家屋、過去にリフォームや外壁修理を受けた家など

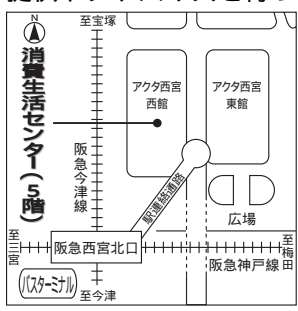
を事前に調査して訪問し、言葉巧みに不要なリフォーム工事をさせるなどで、被害者の半数は60歳以上です。

当センターの相談では、床の補強工事を強引に勧められ、一時間の工事で25万円を取られた。屋根がずれているので放

置していると家が壊れるといわれ、屋根、床、壁と次々に高額な工事をされた。リフォーム工事前納したが担当者が失踪、領収書はにせもので、会社も被害者だと応じてくれないなどの事例があります。

消費生活センターにご相談を

- 必要な場合は、はっきりと断りましょう。ためらう気持ちに付け込まれます。
 - 契約内容をよく確かめ、少しでも疑問がある間は、ハンを押すのも署名をするのもやめましょう。
 - 契約を急がせる業者には、特に注意しましょう。
 - うまい話やもうけ話には必ず落とし穴があるので、うかつにのらないようにしましょう。
- 消費生活センターでは、商品の品質やサービスの内容、悪質商法などでお困りの消費者が、主体的にトラブルを解決できるよう、専門の相談員が情報の提供やアドバイスを行っています。
- 【実施日】
及び時間
月曜～金曜(祝祭日を除く)午前9時～午後4時30分
(正午から午後1時を除く)
電話 0798・64・0999



相談別の品目・件数(平成16年度)

順位	品目	件数
1	オンライン等関連(インターネット・携帯電話)	4,424
2	商品一般(不当請求、クーリングオフ等)質問	309
3	融資サービス(サラ金、ローン、多重債務)	266
4	レンタル賃貸(アパート・マンションの関係)	188
5	相談・その他(プライバシー・嫌がらせなど)	161
6	建築・工事・修理(訪問販売、点検商法)	154
7	書籍・印刷物・新聞関係	145
8	役務一般(会員権・特典サービスなど)	136
9	台所用品(浄水器・なべなど)	112
10	教室・資格講座など	104

キッチン

冷蔵庫 ものを詰め込み過ぎると、冷気の流れが悪くなるうえ、電力を余分に

浴室・洗面所

風呂給湯器 入浴は間をあけずに、シャワーのお湯

7月は石けん使用推進月間です
キレイな水と健康のために
環境にやさしい石けんを使いましょう。
洗剤には石けんと合成洗剤があります。

石けん使用啓発パネルの展示(7/1~7/31)
→アクタ西宮2階 円形デッキ

エネルギータイエット

家庭で減らすCO2

くらしに欠かせないエネルギーの大半は石油や石炭などを燃焼することで得られますが、同時に二酸化炭素(CO2)を排出します。このCO2の濃度の増大が、深刻な地球の温暖化を生み、いま世界の国々がこの削減に取り組んでいます。

私たちが家庭でできる具体的な省エネ行動とは、電気、ガス、水道などの使用での無駄を省くことです。

エアコン 夏は28、冬は20を目安に。室外機は風通しの良い場所に設置し、フィルターの目詰まりをこまめに取り除きましょう。照明器具 人のいない部屋はこまめに消灯し、買い替えるときは、インバータ式器具に。テレビ 見ていないときは消す。ついていないと不安というテレビ症候群が生まれています。

エアコンの冷気を扇風機で部屋中に循環させることで体感温度(肌で感じる温度)を下げ、いっそう涼しく感じられます。そして、エアコンの温度を1度上げると約10%の省エネになります。

環境にやさしい石けんを使いましょう

天然油脂を主原料にした石けんは、合成洗剤と違って、すばやく水と炭酸ガスに分解されるため、河川の汚染を防ぎます。石けん洗剤を使うコップは、ぬるま湯や風呂の残り湯を利用して節水・水質保全で地球に優しくしをしましょう。